

松尾芭蕉 年譜

年号	西暦	歳	年譜事項
寛永21	1644	1歳	伊賀国上野赤坂（三重県伊賀市）に生まれる。
寛文2	1662	19歳	藤堂藩の藤堂良忠（俳号は蝉吟）に仕え、その影響で俳諧の世界に入る。宗房と名乗り、蝉吟とともに貞門派の季吟に俳諧の指導を受ける。
寛文12	1672	29歳	『貝おほひ』を上野天神宮に奉納し、俳諧の道を志し江戸へ。
延宝5	1677	34歳	神田上水関係の仕事にかかわる。
延宝6	1678	35歳	俳諧宗匠（先生）となる。
延宝8	1680	37歳	深川の芭蕉庵に移る。この頃、深川臨川庵に滞在中の仏頂禅師と交流。
延宝9	1681	38歳	門人の季下からバショウの株を贈られ、庵号と俳号の由来となる。
天和2	1682	39歳	八百屋お七の火事で芭蕉庵類焼。
天和3	1683	40歳	再建された第二次芭蕉庵に入る。
貞享元	1684	41歳	深川から『野ざらし紀行』の旅に出る。
貞享3	1686	43歳	「古池や蛙飛び込む水の音」をよむ。
貞享4	1687	44歳	8月、『鹿島紀行』、10月、『笈の小文』の旅に出る。
貞享5	1688	45歳	『更科紀行』の旅に出る。
元禄2	1689	46歳	芭蕉庵を人に譲り、杉風の別荘に移る。『おくのほそ道』に旅立つ。
元禄5	1692	49歳	新築の第三次芭蕉庵に入る。
元禄7	1694	51歳	5月、芭蕉庵から上方へ。10月12日亡くなる。義仲寺に埋葬。



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
江東区芭蕉記念館

〒135-0006 東京都江東区常盤1-6-3
TEL 03-3631-1448 FAX 03-3634-0986
<https://www.kcf.or.jp/basho/>

分館

東京都江東区常盤1-1-3（本館から徒歩3分）



2階展示室

企画展や特別展を開催しています。



庭園

池を配した小さな日本庭園です。芭蕉の句に詠まれた草木を植え、四季折々の草花が鑑賞できます。築山の上には芭蕉庵を模した芭蕉堂があります。また、芭蕉句碑3基があります。



アクセス

地下鉄 都営新宿線・都営大江戸線
「森下」駅、A1出口 (徒歩7分)
バス 『錦11』新大橋下車 (徒歩3分)
『門33』高橋下車 (徒歩5分)
『秋26』清澄一丁目下車 (徒歩8分)
開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
休館日 第2・4月曜日（但し祝日の場合は翌日）
年末年始 設備点検・展示替の際は、臨時休館